

「学校に南っ子の元気な声に戻ってきました」

<南風 第8回 9月>

長い夏休みも終わり、静かだった校舎内に、学校の主役でもある元気な南っ子が戻ってきました。やはり、学校は子どもたちがいなければ物足りないな・・と感じる42日間の休みでした。夏休み期間中は大きな事故などの連絡もなく、元気いっぱい今日を迎える様子を見て、我々もほっとすると同時に嬉しさを感じました。

また、先日の台風10号接近に伴う、本日の日程変更についても、各ご家庭が適切に対応していただいたおかげで、給食の有無や下校時間の行き違いによる混乱も見られず、落ち着いた9月最初の授業日を迎えることができました。ありがとうございました。

9月2日の集会にて、子どもたちに以下のような内容の話をさせていただきました。

長い42日間の夏休みも終わってしまいました。みなさん、元気に生活できましたか。いよいよ今日から学校生活が再開します。今日からの学校を楽しみに迎えた人もいれば、もっと夏休みが続けばいいなあ・・と思っている人もいるかもしれません。今朝、登校の様子を見ていても、大きなあいさつができ、今日からの学校生活にやる気いっぱいの人が多く見られた一方で、久しぶりの登校であるため、7月までの学校の生活リズムが取り戻せずに、ねむそうにしている子も何人か見られました。早く生活のリズムを取り戻してくださいね。

夏休みは、みなさん楽しく過ごすことができましたか。

7月の夏休み前の集会で、夏休み中のお願いとして、みなさんに「けがや事故に会わないように命を大切にしてください」と「この夏休みにしかできないことに挑戦してほしい」という話をしました。

一つ目のけがや事故については、みなさんが約束をしっかりと守ってくれたようで、学校には報告は入ってきませんでした。ありがとうございました。ただ、今年の夏休みは例年以上に暑い日が多く、よくテレビや新聞で「〇〇年に一度の暑さ」「猛暑」「熱中症に注意」という言葉を見聞きました。また、昨日までの台風10号で大きな被害を受けた地域や8月に南海トラフ地震の注意報が出て、「いよいよ大地震が来るかも・・」とドキドキ心配しながら過ごすなど、私たち人間の力では、とても及ばない自然の大きな力による災害について考えて備える夏休みになりました。また、家族でも災害、防災について話し合う機会をもってくださいね。

二つ目の「夏休みにしかできない挑戦」についてはどうでしたか。想像以上の暑さが続いたので、予定していた屋外での活動ができなかったかもしれません。でも、普段の学校ではできない挑戦ができた人も多くいると思います。どんなすばらしい挑戦や体験をしたかについてはクラスで友だちと報告しあったり、担任の先生に話をしたりしてください。よかったら校長先生に会ったときにも教えてください。みなさんの楽しい夏休みの話を聞きたいです。

今日から授業がまた始まります。12月の冬休みまで100日ぐらいです。暑い夏から、秋、冬へと季節も大きく変わっていく100日になります。「100日」と聞くととても長く感じられますが、この期間中には、運動会や学習成果展の大きな学校行事も控えています。みんなが「虹色キラキラとかがやく」楽しい100日間になってほしいと願っています。先生たちは、これからもみんなのがんばりを全力で応援していきます。

子どもたちにも伝えましたが、「酷暑」「南海トラフ地震注意情報」「台風10号」と自然災害が我々の生活に大きく影響する今年の夏休みでした。他人事ではなく自分事として「命の大切さ」ととらえる必要が多くありました。今後、学校でも災害への備えについて話をしたり、避難訓練を行ったりして、自分の命は自分で守る意識をより高めていきたいと考えています。ぜひ、ご家庭でも一度、災害への備えや心構えについて話し合う機会をもっていただけると幸いです。

9月からも引き続きよろしくお祈りします。